

カンボジア学校設立募金にご協力ください



■第1期目標額：1000万円

■募 集 期 間：2006年12月末

1999年から2003年まで5年間に小学校10校を建設し、ワークキャンプ5回を行ってきました。カンボジアでもポルポトの支配地域であったため学校もない貧しい地域に小学校を建てるという当初の目的を達成することができました。ご協力ありがとうございます。

これから、いままでの教育支援活動の経験をもとに、次の目標を掲げて皆様のご支援を呼びかけさせていただきます。

●中学校の建設と運営

いままではカンボジアの地方政府（郡）に協力して学校建設のための資金を提供することが私たちの主たる役割でした。今後は、カンボジアの教育指導者と協力して私立学校を建設して、継続的に学校とその子供たちとの関係を築いていける形で支援を考えます。

カクマ難民キャンプの青年プログラムへの支援



1993年夏に日本から青年2名を、ケニア北西のカクマ難民キャンプに派遣してから、2002年まで毎年、ワークキャンプを行い、特に難民青年との交流と支援を続けて来ました。2003年からは派遣事業は中断していますが、財政支援を継続しています。特に青年のためのスポーツや音楽、演劇、絵画などのプログラムを支援しています。どうぞご協力ください。

2006年の募金目的と目標額

- 難民、国内避難民ほか支援 700万円
古着などのコンテナ費用
- カンボジア学校建設資金 200万円
- カクマ難民キャンプの 100万円
青年プログラムのため

募金目標額 1000万円

募金の送金先

郵便振替口座

わかちあいプロジェクト募金
00130-7-762258

2005年度わかちあいプロジェクト

収 支 決 算 報 告 書

2005.4.1～2005.10.31

収 入

前月繰越	2,891,487円
コーヒー紅茶売上	13,421,765円
募金	7,784,738円
外務省補助金	0円
その他の収入	287,500円
収入合計	24,385,498円

支 出

コーヒー紅茶ほか仕入	11,197,931円
支援 タンザニア	2,003,431円
タイ	610,130円
インドネシア	3,364,499円
その他支援	210,073円
活動費	1,029,372円
事務管理費	2,202,608円
貸付金	915,959円
支出合計	21,534,003円
差引残	2,851,495円

☆別途：カンボジア学校募金56万円積立
会計 網幸男

お 知 ら せ

●わかちあいプロジェクト

フェアトレード・サッカーボール ASPIRO発売中

ww.aspiro.jp

☆ボールの基準：サッカーボール1個につき輸入業者買い取り価格(FOB)の15%の奨励金の支払い*この奨励金により学校建設、診療所の運営などのような様々なプロジェクトをおこないます。



●フェアトレードワイン

クリスマス向け輸入販売予定

☆値段、注文の仕方などは、ホームページと同封のピラをご参照ください。

www.wakachiai.com

赤はフルーティで飲みやすく、味、香りとも華やかでよくできています。白はスッキリした舌触りで、和食にも合いそうです。試飲会でワイン好きを喜ばしました。



発行所(年2回発行) わかちあいプロジェクト 130-0022 東京都墨田区江東橋5-3-1 電話：03-3634-7809 FAX: 03-3634-7808

編集者 松木 傑 郵便振替口座： わかちあいプロジェクト募金 00130-7-762258 (募金用)
わかちあいプロジェクト 00180-6-758331 (代金支払用)



ASPIROのサッカーボールで遊ぶカンボジアの子供たち

フェアトレード・サッカーボールの由来

松木 傑 わかちあいプロジェクト代表

現在、イタリア、イギリス、オーストリア、スウェーデン、日本、ドイツで発売されているサッカーボールにフェアトレードマークをつける考えは、何と私たち、わかちあいプロジェクトの活動のなかから生まれました。

1993年からケニアのカクマ難民キャンプを支援するなかで、こどもたちがサッカーボールもなく布でボールをつくって遊んでいることを知りました。1995年、サッカーボール、300個をパキスタンのシアルコットの会社から購入するため現地を訪問して、そのアイデアが生まれました。認証マーク(FLO)をつけることに合意するまで時間が

かかり、ようやく2003年に合意し、2004年に日本で最初にASPIROというブランド名で発売をはじめています。

ASPIROとはラテン語で、何かを得ようとして努力する、希望する、という意味です。

世界で恵まれなく、困難な環境のなかでも懸命に努力している若者たちの支えになることを願ってこの名前をつけました。利益(売り上げの1割)をそのような青年たちを励ますために使っていきたいと計画しています。

今回、ボール100個をカンボジアの25の学校に寄付しました。

2 フェアトレードプロジェクト

フェアトレードラベル、 ティクオフするか？



イギリスの
フェアトレードファンデーション

●ロンドン訪問

フェアトレード・ラベルの成功例を求めて

2004年の世界のラベル商品の推定総売上高が1千億円を越えました。前年比64%の大幅な伸びになっています。ラベル運動については後発のアメリカが現在売上げトップで360億円、次いでイギリスの260億円です。

4月18日から、成功例を求めてイギリスのラベル団体であるフェアトレード・ファンデーションを訪問し、事務局をはじめ、取り組みの現場を見せていただきました。とくにフェアトレードの会社、生協、フェアトレード都市宣言の三つのことを学びたいと考えました。

会社に関しては、デイチョコレート・カンパニーとツイントレーディングの2社にでかけました。デイチョコレートは、ガーナのカカオ生産者組合と共同出資して設立されたチョコレートの会社で、生産者とイギリス国内の団体の協力関係が、素晴らしいことに驚きました。

生協については、コープグループのフェアトレードの責任者のブラッド・ヒル氏にお会いして、彼からイギリス生協のフェアトレードの成功の話のプレ

ゼンテーションを受け、これはぜひ、日本の生協の人たちに聞いてもらいたい話だと強く思いました。

フェアトレード都市宣言運動については、ロンドン郊外のカムデンの町を訪問して、市の担当者とお会いし、町のなかにあるフェアトレードショップも見せてもらいました。4月の時点で、イギリスでは110の町が宣言し、申請が次々とフェアトレード・ファンデーションに寄せられていて、ブームになっているようです。市民がフェアトレード商品を購入できる体制が整っているなどの条件が満たされ、議会でフェアトレード議案を通して、はじめてフェアトレード都市として認定されます。まず住民からの声があって議会はそれに応えているのです。

今回の訪問を通して感じたことは、世界の貧困問題にたいしてフェアトレードを通して取り組むのだという、人々の強い意志とそのために協力する姿でした。

私たちも視野を広くもって、ねばり強く取り組んで行きたいと思います。(松木)

各国のフェアトレード フランス編

フランスはイギリスについて今最もフェアトレードの勢いの目覚ましい国です。フランスのフェアトレード・ラベル団体であるマックスハベラー・フランスは1992年に3団体の提案で設立されました。

1998年に「道徳的な商品を要求しよう」キャンペーンを行い、大規模小売業との取引を始めフランス全土にフェアトレードが知られるようになりました。

1999年にはコーヒー焙煎業者との取引が始まり、フェアトレード・ラベルがスーパーマーケットで広がり、数ヶ月で取扱店の数が5倍になりました。2000年にはほとんどの小売業者がフェアトレード・ラベルのコーヒー取り扱うようになり3500箇所にもなりました。2001年にはバナナから生鮮品の取り扱いが始まり、紅茶も市場に出るようになり、2002年にはカカオ、オレンジ果汁、米、砂糖が発売されました。2003年にはガーナ産のフェアトレードパイナップル、2004年にはブルキナファソ産マンゴーが発売されました。そして2005年には原材料としてはじめてフェアトレードコットンが製品化されました。

2004年現在でフランス国民一人当たり年間約156円のフェアトレード製品を購入しています(日本は約2円)。現在30カ国94の生産者団体との取引があります。2004年には7000万ユーロ(約100億円)のフェアトレード商品の売り上げがありました。(北沢)

日本のラベル商品の売上量

2003年	30トン
2004年	67トン
2005年	100トン 約3.5億円

フェアトレード・ラベル・ジャパン
www.fairtrade-jp.org

3 古着支援プロジェクト

古着はアチェとニアス島の津波被災者に送られました



瓦礫で埋まった教会



救援に向かう宇野 右



スマトラ地震救援報告

宇野 仰 (スマトラ事務所代表)

インドネシア・北スマトラへは2001年から古着の支援が続いています。昨年同様、7月末に40フィート・コンテナ3本の古着、段ボール合計2700箱が到着しました。地震被害のあったアチェとニアスへ届けことが出来ました。今回の報告は古着支援と地震救援プロジェクトの2本立てで進めます。

ご存知のように昨年末のスマトラ沖地震では津波によってアチェとニアス島、3月末に起きた地震では大きな揺れでニアス島が被害を受けました。昨年度の古着がメダンに保管してあったため、1月にアチェに200箱、ニアスに150箱を食料や米、飲料水と共に届けました。6月と9月には再びニアス島を訪問しました。

わかちあいの事務所のあるタルトゥンからメダンまでは車で7時間、メダンからアチェまでが16時間、合計23時間。タルトゥンからニアス行きのフェリーの出るシボルガまで2時間、シボルガからニアス島までが14時間、合計16時間。事務所はほぼ中間の適切な場所にあると言えるでしょう。

多分この報告が印刷された現在でもコンテナの到着する、メダンのベラワン港には支援物資が大量に到着しており、その陸揚げのコントロールができないほど混乱していることでしょう。7月末に届いたコンテナですが、税関関係者から「明日には渡すことができるから」と毎日言われ続け約1ヶ月が経過。まったく埒がきませんでした。そのためジャカルタから手伝いに来てくれた義父が再度ジャカルタに戻り、副大統領に現状を訴え、直接荷揚げを急がせる書面を受け取り、ようやく受け取りが終了しました。受け取ったのは9月5日、2ヶ月以上延滞したことになります。

3本のコンテナは大小合わせて8台のトラックに分乗され、アチェ、ニアスそしてタルトゥンへと陸送されました。コンテナで直接陸送すると小回りが効かないことから、保管場所への搬入が困難になること、またニアス島へはタルトゥンから急カーブの続く山道を通り、途中にあるトンネルではコンテナの通行が出

来ないという理由からです。タルトゥンでは高校生へ奨学金を支給する活動のために古着を役立てていますが、保管場所が見つからずスタッフ自宅内に運び込み身動きが取れない状態になりました。

では次に簡単に地震被害の様子を報告します。1月にアチェを訪問した際は、トラック運転手が余震を恐れて現地に行くことを嫌がり、なかなか運転手が見つかりませんでした。1月5日メダン発、6日夕方救援キャンプ着。このキャンプはアチェにあるキリスト教会の合同組織でそれぞれの教派を超えて協力関係を結んでいます。荷物を降ろした直後メダンに向かいましたので、詳細は判りませんでしたが、市内は停電状態で発電機がうなり、夜の闇の中に恐ろしいほどの瓦礫の山が築かれていました。これは日本の報道でもご存知でしょう。今回の支援ではキャンプ関係者がメダンまで来訪し、トラックに直接指示を出しましたので、わかちあい関係者はアチェには向かいませんでした。

ニアス島出発は1月10日。12日にニアス島着。津波の被害の大きかった西海岸のシロンブまで山道を4時間。やはり救援キャンプに古着などを届けました。私は数日シロンブに留まり、通信手段の確保と水源の必要性を感じ、井戸の掘削に関しては草の根無償資金に申請しています。6月はフェリーの到着する、グヌンシトリを支援。救援テントがかなり多く見られましたが、9月の訪問時には整地作業もほぼ終了、道路なども多少整備が進み、木造建築の家屋が多く建てられていました。しかし生活物資の高騰は相変わらずとのことでした。インドネシアは子供が多く、粉ミルクが高くて簡単に手に入らないと支援先の関係者が話していました。ただ日本とは「死」に対しての感覚がかなり異なり、遅く生活して行く力強さを感じました。1月の活動の様子はわかちあいのHPでも紹介されています。

今後とも古着支援が大きな意味を持つことになるよう願っています。

第13回 2005年度 古着支援報告

古着の支援ありがとうございます

- ◎支援先：
 - タンザニア キボンド難民キャンプ 40フィートコンテナ2本
 - インドネシア 40フィートコンテナ3本
- ◎寄付された古着：5,040箱
- ◎募金額：7,100,327円

第14回 2006年度 古着支援要項

2006年も以下の要項に従って古着を集めます。ご協力、よろしくお願いいたします。送り先と受け付け期間を間違えないようにお願いします。衣料品以外のものは対象外ですので御了解ください。

- 支援先(予定)：タンザニア、エリトリアなど
- 古着の種類：子供と大人の衣類(夏冬ものすべて)ズボン、TEEシャツ、スカート、ワイシャツ、ジーンズ、背広、トレーナー、ジャージ、カーデガン、セーター、コートなどタオル、シーツも可
- 古着の状態：洗濯に出したもの、あるいは自分で洗濯してアイロンをかけたものにしてください。
- 古着の個数：ダンボール箱、4000個(40フィートコンテナ5台)
- 送り先：大田区京浜島1-2-2ヤマト(株)内(電話：03-3799-1921)わかちあいプロジェクト(現地への持ち込み可、ヤマトを使う必要なし)
- 受付期間：2006年6月1日(木)～6月10日(土)(この期間に到着するようにお送りください)
- ダンボール箱の大きさ：引越し用段ボール箱大のおおきさまで(縦・横・高さの合計が1.5mまで)
- 送料募金：ダンボール1箱あたり、1,500円(古着の寄付だけは受け付けていません。送料カンパを条件としています。荷物と一緒にカンパを送られますと、そのまま現地まで送られてしまいます。ご面倒ですが郵便振替でご送金ください)